

2025 SLレインボーカートミーティング特別規則書

本大会はF I A国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、ならびにそれに準拠したJ A F国内カート競技規則とその付則、ならびに2025年SLカートミーティング規則書とSLカートミーティング車両規定と本大会の特別規則書に従って開催されます。

作成日:2025年1月10日
赤字 2025年追加変更箇所

第1章 大会開催に関する事項

1 大会名称 2025 SLカートミーティングレインボーカップシリーズ

2 開催日、開催コース及び主催者

第1戦 2月16日(日)
第2戦 3月30日(日)
第3戦 6月1日(日)
第4戦 7月6日(日)
第5戦 8月17日(日)
第6戦 11月2日(日)
第7戦 12月7日(日)

開催場所 レインボースポーツカートコース
住所 〒512-0937 桑名市志知3918-1
連絡先 TEL (0594) 31-5333 FAX (0594) 32-3733
主催者 レインボースポーツ

3 大会組織委員、審査委員長及び大会競技委員 公式通知にて示します

4 大会事務局 開催場所と同じです。

5 競技の種目・内容と格式

(1) 種目 スプリントレース

(2) 開催クラスと格式

開催クラス(格式はすべてクローズド)

キッズ、ヤマハカデットオープン、KTチャレンジ、ヤマハSS、ヤマハスーパーSS
併催クラスとして MZシニア(開催日:第1戦、第3戦、第5戦、第6戦、第7戦)

(3) 別クラスの混走によるレースについて(全クラス共通)

各クラスともエントリー台数が4台以下だった場合、他のクラスと混走となる場合があります。

第2章 競技参加者に関する事項

1 エントリーの資格

キッズクラスは、有効なキッズライセンス所持者。

SLクラスは2025年に有効なSLライセンス所持者とします。

さらにSLクラスにおいては、有効なSLO安全協会加入証を所持していること。

KTチャレンジ、MZシニアクラスはレインボーコースライセンスでも参加することができます。

2 エントリーの受付と方法

(1) 開催1ヶ月前よりレース前日の正午までに、所定の用紙に必要事項を記入し、事務局まで持参するか、電話、FAX、メールにて手続きを行うこととします。

(2) レース週の木曜日以降エントリーをする場合、レイトエントリーとして2000円の事務手数料を必要とします。

(3) レース週の木曜日以降のキャンセルはキャンセル料100%が必要です。

※レイトエントリーの方は、エントリーリスト、バドック割など割り振られない場合があります。

3 エントリーフィー

エントリーフィー13,000円

MZシニアクラスは15,000円です。

※ピットクルー2名まで無料。レンタル計測器を使用される方は別途1,000円必要です。

※キッズ2ストクラスのみエンジンデリバリー制のため、別途5,000円必要です。

4 参加者と補助者の資格

競技に参加もしくは参加者の補助ができるのは、当日エントリーしてあるドライバー、ピットクルー及び当コースが公認したエントラントの代表者のみ。それ以外の者に補助を受けたドライバーはそのヒートを失格となります。

5 大会開催の最低参加台数について

各大会のエントリー締め切り日(レースウィークの水曜日営業終了時点)において、総参加台数が22台以下だった場合は、その大会はすべて不成立となり開催されません。(エントリー無料の特典を受けているドライバーに関しては参加台数に数えません。)また、エントリーしたドライバーに関しては大会不成立の場合、全額返金されます。

6 ゼッケンについて(全てのドライバーが対象になります。)

ゼッケン番号は登録することにより、自由に決めることが出来るものとします。ただし、選択できる番号は2～99とします。また、ゼッケン1については前年度のチャンピオンだけが選択できるものとします。ゼッケンの色・形に規定はありませんが、バックシートを使用し(白か黄色を推奨)ゼッケンがはっきりと認識できるようにしてください。ゼッケンは前後に貼ること。左右に違う数字のゼッケンを貼っている場合はx印などで隠してください。

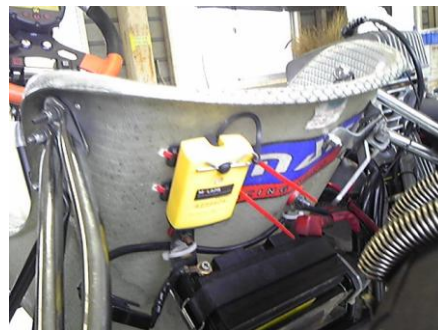
ゼッケンの登録は第1戦開催日の1ヶ月前から受け付けます。同じ番号を希望する方が複数見えた場合は先着順とします。

一度登録した番号は、その年の最終戦まで有効です。途中で変更することも可能です。なお指定ゼッケン及びバックシートはドライバーが用意してください。

7 自動計測装置について

- (1) 当日のレース決勝終了まで、主催者が定める計測装置を用意し、かつ使用できる状態でドライバーが取り付けることとします。機能不具合、脱落、未装着による不利益は全てドライバーの責任です。
- (2) 主催者が定める計測装置を用意できない場合は、主催者から借りて下さい。(レンタル料金は1,000円)
- (3) 主催者の計測器を破損、紛失した場合は、理由の如何を問わず48,000円(税別)を支払うこととします。
- (4) 計測器の取り付け位置は、シートの後方または左側面へ脱落しないように強固に取り付けて下さい。(以下の写真参考)
- (5) 公式練習中、計測機の不具合が発見された場合、オレンジボールにてピットインしていただき計測機の交換をする場合があります。

取付例



第3章 車両規定

1 車両規定について (全クラス共通)

車両規定については原則として、2025 S L 規定に準ずるものとし、それ以外については以下に記します。

- (1) A・通称脱落式フロントフェアリングについて、ヤマハカデットオープン、MZカデット、ヤマハSS、ヤマハスーパーSSのクラスは必備とします。
フロントフェアリングのチェック方法として、2023国内カート競技車両規則第9条ボディーワーク(5)フロントフェアリング③基準CによるCIK-FIA公認フロントフェアリングが正しい装着状態でない場合は、タイムペナルティ5秒加算となります。
B・チェッカーを受けた後の重量測定前にチェックします。その際チェックが終わるまで車両から降車することは認められません。
C・この裁定に対する抗議は認められません。
- (2) YAMAHAカデットオープンのクラスは自由とします。
- (3) レースで使用するタイヤにはタイムトライアル出走までにタイヤ4本の両側面にゼッケンを記入してください。
- (4) 急激な天候の変化により、ウエットタイヤに限り、全選手に追加1セットの使用を認める場合があります。交換に関しては当該ドライバーの任意とします。
- (5) エンジンオイルはCIK公認オイルまたはSLO認定オイルを使用してください。

2 キッズ車両規定について

クラス	エンジン			シャシー		タイヤ	重量	ライセンス
	機種	ジェット	改造	機種	改造			
キッズ 2スト	EC 04ER (デリバリー)	メインジェット 6.5番以上	切削・付加等一切 の変更・改造禁止	ホイールベースが 800mm以下で市販 されているもの。 リアアックスル25パイ以下	禁止 Fブレーキ禁止	ドライ DL SLJ レイン DL SLW 2	7.8kg (チャレンジ は自由)	キッズ ライセンス

エンジン規定

- (1) キッズエキスパートクラス(2スト)のエンジンはデリバリー制とします。
エンジンはレース当日の朝に車検場で抽選して渡します。
デリバリーされたエンジンの改造・変更は一切禁止。そのまま使用してください。
- (2) ガソリン、オイルは主催者が用意し、当日エンジン配布の後に車検場にて渡します。
ガソリンの追加支給は、予選と決勝ヒートの間に1度のみ行います。
- (3) デリバリーのエンジンオイルは「YAMAHAフォーミュラKT2CR(混合比20:1)」を使用します。
- (4) 万が一、エンジンを破損等した場合には、修理費を後日請求します。
- (5) ドラムクラッチアッシー、キャブレター及びFスプロケはドライバーが用意してください。
- (6) デリバリーのエンジンは決勝終了後、すみやかにエンジンを車検場へ返却してください。
- (7) ニードルのイーリングクリップ位置は自由です。
- (8) スプロケット及びギア比は、自由です。
- (9) プラグは「NGK: BPM7AかBPM8Y」のみ。【プラグギャップは0.69mm以下】
- (10) キャブレター、吸気消音器の改造は禁止、市販状態でなければなりません。
ただし、レイン宣言時フィルターを取り外しを可とします。
- (11) マフラーは純正に限る。ただし排気口径12mm以下、ガスケットも純正のみとします。
- (12) 抽選で決まったデリバリーエンジンに関して、不調、不具合により交換を希望する場合、
1度だけ交換に応じることがあります。ただし、その際には追加で5,000円を支払う
必要があります。

クラス	エンジン			シャシー		タイヤ	重量	ライセンス
	機種	ジェット	改造	機種	改造			
キッズ 4スト	ホンダ GXH50	切削・付加等一切 の変更・改造禁止	切削・付加等一切 の変更・改造禁止	ホイールベースが 800mm以下で市販 されているもの。 リアアックスル25パイ以下	禁止 Fブレーキ禁止	ドライ DL SLJ レイン DL SLW 2	7.8kg	キッズ ライセンス

エンジン規定

- (1) キッズエキスパートクラス(4スト)のエンジンはマイエンジンとします。
- (2) スプロケット及びギア比は自由とします。

服装規定(キッズクラス共通)

- (1) ネックガード、プロテクターベストを必備です。

シャーシ規定(キッズクラス共通)

- (1) フレーム(リアバンパーも含む)を切断、加工は一切禁止とします。
- (2) カーボンファイバー材質の部品の使用禁止とします(シートを除く)。
- (3) ホイールはアルミニウム製のみ。ホイールの幅はフロント130mm以下、リアは180mm以下に限ります。
フロントハブタイプの使用は認めます。但しハブは60mm以下のもので、17パイ以下。
ホイールハブはフロント、リア共にアルミ製のみ。
- (4) フロントフェアリング、サイドボックス、ロールバーは必備です。
- (5) 右サイドボックスのみ、強度を不足しない程度で切削することができます。
- (6) ブレーキシステムは機械式のみとし、油圧式は禁止とします。
- (7) アライメントアジャスターの装着は自由とします。

3 KTチャレンジクラス車両規定について

- (1) 車両規則、競技規則は、以下の場合を除きSL規則に準じるものとします。
- (2) エンジンにはKT100SDもしくはKT100SECとします。
- (3) タイヤはダンロップSL22もしくはブリヂストンSL17のどちらかとします。
- (4) ノイズボックスは自由とします。
- (5) 最低重量は145キロです。

4 MZシニアクラスについては別紙参照のこと。

第4章 競技に関する事項

1 公式練習

カート競技会運営に関する規則 第23条及び24条にもとづき公式練習を行います。

2 タイムトライアル

- (1) タイムトライアルは以下の方法で行ないます。

【公式練習8分間のあと続けて5分間計測】

8分間の公式練習に続けて、5分間のタイムトライアルを行います。その中でベストタイムが成績となります。

また、タイムトライアル開始後は、途中でピットインし再スタートすることは認められず、ピットインした場合は終了となります。

3 レースの方法

各クラスともレースの参加台数によりレースの方式を決定します。原則として予選レースを1ヒート決勝レースを1ヒート行い、決勝レースの結果にて最終順位とします。

4 スタート

- (1) キッズクラスのスタート方法は、スタートラインよりグリッドスタートとします。1周のフォーメーションラップの後、再グリッドし全車一斉にスタートです。スタートの合図はシグナルもしくは、フラッグ(日の丸)で行うものとします。
カデット以上のSLクラスのスタート方法は、ローリングスタートとします。スタートライン25m手前に引かれたイエローラインを越えるまではアクセルを全開にしないでください。
- (2) ローリング中に隊列から遅れた場合、自分のポジションに戻ろうとする場合は、必ずローリングの後方より戻らなければなりません。ローリングの先頭を待って自分のポジションに戻る行いは一切禁止です。また、ショートカットによる復帰も一切禁止とします。ローリング中に隊列から遅れてしまい、復帰する場合でも、11コーナーの白線からスタートラインまでの区間は、追い越し及び割り込みは禁止され、これを違反したものはペナルティとなります。
白地に赤×の旗を受けた場合、当該車両は最後尾につかなければならず、自分のグリッド位置に戻ることはできません。
ローリング中停止してしまった場合は全車両が通過するまで再スタートを試みてはなりません。スタートの時、スタートフラッグが振られるまでは、追い越し、進路変更をしてはいけません。
- (3) フォーメーションラップの隊列は2列で、幅約2メートルのレーン(コリドー)を走行しなければなりません。

- (4) ローリング中に隊列を整える義務を怠ったり、遅延行為または、スポーツマンシップに反する行為をしたと判断した場合、白黒旗を提示します。それでも改善されない場合はペナルティを科す場合があります。
- (5) ローリングラップで隊列が整い、スピードが安全であり、かつイエローライン上で順位が正しい場合、日章旗がふられ上記規制は解除されます。
- (6) コリドーを守らなかった場合の罰則は原則ありません。しかし、上記(4)のように、隊列が整っていないと判断され、スタートがきれず繰り返す場合は、オフィシャルの指示を故意に無視しているとみなし、ペナルティを課す場合があります。
- (7) ローリング中やタイムトライアルのウォーミングラップの時に危険な走行を禁止します。

5 その他の競技に関する一般事項

- (1) ピットインしたドライバーは必ず一時停止をしなければならない。又ピットロードでのオーバースピードはペナルティーとなり、これに対する抗議は一切認められません。
- (2) チェッカー後、明らかに危険行為と見なされる場合、競技長の判断にてペナルティーを課す場合があります。
- (3) レース中にスピンや接触等で停止した場合、安全の為にオフィシャルが回収することがあります。その後、ドライバーが安全を確認して再スタートすることは出来ませんが、その再スタートの手助けをオフィシャルがすることは原則ありません。(ただし危険を排除する目的で手助けする場合はあります。)
- (4) キッズ、カデット、ジュニアクラスのドライバーは公式練習、タイムトライアルおよびレース中(フォーメーションラップ含む)スピン等で車両が停止し、カートから降りなければならぬ状況の時は、原則としてリタイヤとなります。
- (5) ストレートの右側にあるイエローラインはホワイトラインと同じとみなし、イエローラインをカットもしくはライン上にカートが進入した場合でもペナルティーの対象とはしません。
- (6) 予選・決勝のスタート時にトラブル等でピットスタートとなった場合、そのローリングの隊列に戻れたとしても自身のグリッド位置には戻れず、最後尾からのスタートとします。
- (7) 全てのクラスでWチェッカーをした場合、ペナルティーが課せられる場合があります。

6 レインボースポーツでの最終コーナー黄旗について

最終コーナーの黄旗振動はコーナー出口にて事故発生の時に示されます。この時の違反者についてのペナルティーは、黒旗と同様のペナルティーを課す場合があります。

7 ウォーミングアップエリアについて

全クラスともパドックでのエンジン始動を禁止です。カートのウォーミングアップエリアは車検場横の車両保管場所のみとします。

キッズクラスのエンジン始動については、必ずタイヤが地面に設置した状態でエンジン始動してください。タイヤが地面から浮いている状態で空ぶかした場合はペナルティとなります。

8 ウイニングランについて

決勝ヒート終了後、優勝者によりウイニングランを行う場合があります。なお優勝者はウイニングランのあと計量を行います。ウイニングラン後の計量で重量が足りなければ失格となります。

第5章 シリーズ戦に関する事項

1 シリーズポイント

SLカートミーティング特別規則に準じて算出します。ポイントは**7戦中6戦有効**です。最終戦(第7戦)のポイントは通常の1.5倍として加算します。小数点以下は切上げです。

2 正賞及び副賞

レインボーカートミーティングは参加台数が3台以上で成立とし、**シリーズは7戦中6戦**の成立試合が必要です。これを満たさない場合、そのシリーズは成立しません。

3 シリーズ賞について

シリーズランキング3位までをレインボーシリーズの表彰対象者とします。

SLクラスチャンピオンは、エンジン（KT100SECベースエンジン）と次年度の練習走行料金が無料になります。

ただし、それぞれのクラスでシリーズの総参加台数が65台以上であることとします。

シリーズとして成立したが総参加台数が45台以上65台未満だった場合は、次年度の練習走行料金が無料となります。

第6章 注意事項

1 危険性について

モータースポーツは危険な為、立ち入り禁止の場所(コース内とその付近)には絶対に入らないでください。立ち入り禁止の場所に入って事故があっても、主催者は一切責任を負いません。

また、お連れの方やお子様にも十分注意し、事故が起こらないよう責任をお持ちください。

2 喫煙について

喫煙場所は決められた場所のみです。観客席、ピットロード、パドックなどの喫煙はペナルティの対象となります。

ピットクルー、エントラント、関係者の喫煙も関係ドライバーへのペナルティとなります。

3 ピットロードの立ち入り禁止エリアについて

コース長ボックス(ストレート中央)より車検場側は原則立ち入り禁止。またヒート終了後も車検場に行く場合はピットロードを通らず、駐車場側から向かうこととします。

4 スケートボード等の禁止

レース日に限らず、駐車場も含め場内では、スケートボード等の乗り物や玩具等は一切禁止です。